



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月9日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日

配当支払開始予定日

2018年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	4,412	3.3	△422	—	△385	—	△315	—
2018年3月期第2四半期	4,271	0.6	320	△34.3	342	△37.7	179	△71.5

(注)包括利益 2019年3月期第2四半期 △174百万円 (—%) 2018年3月期第2四半期 260百万円 (△63.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△23.96	—
2018年3月期第2四半期	13.57	13.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	27,538	16,230	51.6
2018年3月期	27,840	16,536	52.2

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 14,203百万円 2018年3月期 14,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2019年3月期	—	7.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 記念配当3円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,552	2.9	△186	—	△84	—	△152	—	△11.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	14,000,000 株	2018年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	812,007 株	2018年3月期	816,007 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	13,184,386 株	2018年3月期2Q	13,236,757 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・財政政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調がみられたものの、海外では米中両国の貿易摩擦が今後の世界経済に影響を及ぼす懸念材料となり、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では就労人口の増加等によるユニフォーム業界の堅調な商いに支えられたものの、百貨店を中心とした衣料品の伸び悩みが依然として続いており、厳しい状況で推移しました。一方、不動産活用事業は、大型商業施設や病院施設からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は44億12百万円（前年同期比3.3%増）となりました。営業損益は事業別セグメントの概況の② 不動産活用事業に記載のとおり、大型商業施設「イオンモール川口」の賃貸借契約終了の決定により費用が増加したことから、前年同期と比べ7億43百万円利益が減少して4億22百万円の損失となり、経常損益は前年同期と比べ7億28百万円利益が減少して3億85百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては前年同期と比べ4億95百万円利益が減少して3億15百万円の損失となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、輸入原糸販売の産地需要が回復したことから売上は前年並みに推移し、ポリエステル及びリネン生地の販売も生機を中心に伸び、総じて増収となりました。一方、仕入れ価格の上昇により利益はほぼ前年並みとなりました。

アパレル部は、昨年に引き続きユニフォーム業界が安定している中、法人ユニフォームの直需と百貨店からの新規物件受注により増収増益となりました。

カジュアル部は、キャンプ関連商品及びOEM商品の販売が伸び増収となり、また不採算店舗の撤退を進めたことから費用が減少し、営業損失が縮小しました。

刺繍レースを扱うフロリア(株)は、服地レースは新規先や資材向けの売上が伸びた一方、付属レースの売上が減少し、わずかに減収となりましたが、営業損失は縮小しました。

この結果、繊維事業の売上高は25億95百万円（前年同期比5.7%増）、営業損失は32百万円改善して15百万円の損失となりました。

② 不動産活用事業

「イオンモール川口前川」は、近隣の大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」が出来るというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに隣接地に病院施設を建設、賃貸することにより不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。

「イオンモール川口」は開店から34年経過しており、イオンモール(株)からの申し出により建物の老朽化及び設備状況や施設運用状況などの協議を重ね総合的に判断し、2018年8月31日にお客様に惜しまれつつ閉店し、同年9月30日に賃貸借契約が終了しました。これにより当該物件の残存耐用年数を賃貸借契約が終了する9月30日までに減価償却が完了するよう見直し、建物等の残存価額及び資産除去債務に対応する撤去費用を賃貸借契約が終了する9月30日までに費用処理するために加速償却を実施しております。以上により、「イオンモール川口」に係る費用は従来に比べて9億18百万円増加しております。再開発については当該跡地を含む周辺一帯をイオンモール(株)と共同で新たな商業施設としての検討を進めております。

その他未活用不動産の活用については、収益性はもちろん地域社会に貢献できる施設を検討しております。

この結果、不動産活用事業の売上高は13億58百万円（前年同期比1.1%増）、営業損益は7億21百万円利益が減少して3億94百万円の損失となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は夏の猛暑や川口グリーンゴルフ練習場において、打席設備の一新や稼働システムの更新を進めている影響から、入場者が減少し減収となり、また、これらの工事の一部を費用計上したため減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は4億38百万円(前年同期比7.7%減)、営業損益は60百万円利益が減少して15百万円の損失となりました。

④ その他の事業

ギフト事業部は、観葉植物の新規レンタル契約獲得と慶弔用の花卉ギフト及び中元ギフト販売に注力しましたが減収となりました。一方で経費を削減し営業損失が縮小しました。

神根サイボー㈱のインテリア施工事業は、一般住宅施工は増えたものの、大口物件の受注の減少を埋めることができず、減収減益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は1億90百万円(前年同期比56.7%減)、営業利益は1百万円(前年同期比95.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、現金及び預金や繰延税金資産が増加したものの、イオンモール川口に係る建物等の残存価額や資産除去債務に対応する撤去費用を2018年9月30日までに減価償却が完了するように加速償却している影響から、前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少して275億38百万円となりました。

負債は、長期借入金の返済による減少があったものの、支払手形及び買掛金や未払法人税等の増加により、前連結会計年度末に比べ3百万円増加して113億7百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や前連結会計年度末の配当金の支払等により、前連結会計年度末に比べ3億5百万円減少して162億30百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ3億24百万円増加して27億58百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第2四半期連結累計期間に比べ5億69百万円増加して8億40百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上があったものの、加速償却により減価償却費が増加したことや法人税等の支払額が減少したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ2億67百万円減少して70百万円となりました。これは主に有価証券の売却による収入が減少したものの、有形固定資産や投資有価証券の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ42百万円増加して4億45百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出の増加や前連結会計年度末の配当金に記念配当を含めて支払ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月15日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

なお、前連結会計年度に「イオンモール川口」の賃貸借契約終了が平成30年9月30日に決定したことから、当該物件の残存価額及び資産除去債務に対応する撤去費用を同月までに減価償却が完了するように加速償却(減価償却費の追加計上)を行っております。この影響から第2四半期連結累計期間までは、損失の増加を見込んでおります。平成30年10月以降は「イオンモール川口」の賃貸収入が無くなりますが、前述しました加速償却を行わないことで、収益の確保ができる見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,695,080	3,002,013
受取手形及び売掛金	960,583	1,080,191
有価証券	50,260	20,017
商品及び製品	1,190,307	1,193,301
仕掛品	15,226	17,984
原材料及び貯蔵品	32,272	50,166
その他	225,850	209,529
貸倒引当金	-	△3,069
流動資産合計	5,169,581	5,570,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,726,677	8,508,681
土地	6,929,229	6,969,926
その他（純額）	640,929	724,900
有形固定資産合計	17,296,835	16,203,508
無形固定資産	14,518	37,738
投資その他の資産		
投資有価証券	4,716,200	4,856,214
その他	670,107	907,787
貸倒引当金	△26,485	△36,706
投資その他の資産合計	5,359,822	5,727,294
固定資産合計	22,671,176	21,968,541
資産合計	27,840,757	27,538,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	577,705	779,606
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	536,136	494,484
未払法人税等	18,753	172,303
賞与引当金	59,618	52,286
役員賞与引当金	6,350	3,175
資産除去債務	-	451,141
1年内返還予定の預り保証金	2,733,218	590,213
その他	331,607	307,687
流動負債合計	4,313,389	2,930,898
固定負債		
長期借入金	1,795,942	1,548,700
役員退職慰労引当金	243,968	251,740
退職給付に係る負債	160,331	162,753
長期預り保証金	3,877,716	5,972,581
資産除去債務	794,127	344,690
その他	118,770	96,634
固定負債合計	6,990,855	8,377,100
負債合計	11,304,244	11,307,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	870,956	871,061
利益剰余金	12,041,071	11,594,761
自己株式	△496,828	△494,970
株主資本合計	13,817,198	13,372,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	750,152	867,911
退職給付に係る調整累計額	△37,884	△36,779
その他の包括利益累計額合計	712,267	831,131
新株予約権	6,595	6,928
非支配株主持分	2,000,450	2,019,766
純資産合計	16,536,512	16,230,679
負債純資産合計	27,840,757	27,538,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	4,271,461	4,412,721
売上原価	3,161,875	4,063,452
売上総利益	1,109,585	349,268
販売費及び一般管理費	789,333	772,045
営業利益又は営業損失(△)	320,252	△422,777
営業外収益		
受取利息	6,194	1,940
受取配当金	45,871	51,865
その他	25,532	39,447
営業外収益合計	77,598	93,252
営業外費用		
支払利息	23,344	17,481
持分法による投資損失	11,078	21,998
その他	20,791	16,663
営業外費用合計	55,215	56,144
経常利益又は経常損失(△)	342,635	△385,668
特別利益		
新株予約権戻入益	8,972	-
特別利益合計	8,972	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	6,448
関係会社株式評価損	25,000	-
特別損失合計	25,000	6,448
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	326,607	△392,117
法人税、住民税及び事業税	122,608	169,016
法人税等調整額	△32,275	△269,661
法人税等合計	90,332	△100,645
四半期純利益又は四半期純損失(△)	236,274	△291,472
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,693	24,370
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	179,580	△315,842

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	236,274	△291,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,411	112,689
繰延ヘッジ損益	992	—
持分法適用会社に対する持分相当額	6,554	3,852
その他の包括利益合計	23,959	116,541
四半期包括利益	260,233	△174,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206,519	△196,978
非支配株主に係る四半期包括利益	53,713	22,048

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	326,607	△392,117
減価償却費	468,107	1,242,356
貸倒引当金の増減額(△は減少)	980	13,291
賞与引当金の増減額(△は減少)	△950	△7,331
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,860	△3,175
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,338	2,422
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,264	7,772
受取利息及び受取配当金	△52,066	△53,805
支払利息	23,344	17,481
持分法による投資損益(△は益)	11,078	21,998
投資有価証券評価損益(△は益)	-	6,448
関係会社株式評価損	25,000	-
売上債権の増減額(△は増加)	38,843	△119,608
たな卸資産の増減額(△は増加)	△179,822	△23,647
仕入債務の増減額(△は減少)	107,405	201,900
預り保証金の増減額(△は減少)	△47,679	△48,139
その他	△260,033	△42,810
小計	460,881	823,036
利息及び配当金の受取額	53,730	55,639
利息の支払額	△23,000	△17,481
法人税等の支払額	△221,441	△21,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	270,170	840,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	164,083	30,000
有形固定資産の取得による支出	△357,693	△116,592
投資有価証券の取得による支出	△293,646	△60,384
投資有価証券の売却による収入	30,001	-
定期預金の増減額(△は増加)	△2,104	17,095
貸付けによる支出	-	△700
貸付金の回収による収入	3,070	3,060
その他	119,060	57,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337,228	△70,118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	340,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△320,000	△320,000
長期借入金の返済による支出	△268,887	△288,894
配当金の支払額	△91,208	△130,467
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
その他	△61,058	△53,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△403,885	△445,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△470,943	324,028
現金及び現金同等物の期首残高	3,037,437	2,434,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,566,494	2,758,724

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,450,010	1,208,801	475,624	4,134,437	137,024	4,271,461	—	4,271,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,383	135,164	—	139,547	301,616	441,163	△441,163	—
計	2,454,393	1,343,966	475,624	4,273,984	438,640	4,712,625	△441,163	4,271,461
セグメント利益 又は損失(△)	△47,393	326,887	44,519	324,013	28,778	352,792	△32,539	320,252

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,590,912	1,222,964	438,753	4,252,630	160,090	4,412,721	—	4,412,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	135,164	29	139,394	30,030	169,424	△169,424	—
計	2,595,112	1,358,129	438,783	4,392,024	190,120	4,582,145	△169,424	4,412,721
セグメント利益 又は損失(△)	△15,119	△394,645	△15,990	△425,755	1,368	△424,386	1,609	△422,777

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。